

## ◇◆◇方向性ごとの課題・改善策◆◆◇

### 方向性1「地域や市民に役立つ図書館」についての課題・改善策

#### 【震災関連資料等郷土資料の有効活用】

- ・「3.11 震災文庫」をはじめとした郷土資料の継続収集、地域講座の開催など、各館の分担収集分野に関連した事業を実施し、地域の特色を生かした取り組みを進めることで図書館の魅力を深める情報の発信を行う。

#### 【社会の状況に応じた情報提供の充実】

- ・持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標を達成するための活動が世界的に広がっていることから、関連資料を展示するなどの情報発信に取り組む。
- ・新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言等、不測の事態に備えた非来館型サービスの必要性が求められているなか、デジタル環境での対応が図れる電子図書館の導入について調査・検討を進める。

### 方向性2「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」についての課題・改善策

#### 【乳幼児と保護者向け読書支援の検討】

- ・乳幼児の保護者向けのブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」の健診等での配布を継続しつつ、0歳から読書に親しめる「きっかけづくり」を提供する子育て支援事業の研究を行う。

#### 【学校と連携した学習支援の拡充】

- ・児童・生徒が図書館の資料を積極的に活用できるよう「調べ学習の手引き」の作成や、ブックトーク、授業用図書貸出など学校貸出サービスを活用した学習支援の取り組みを進める。

#### 【ヤングアダルト世代への情報発信の強化】

- ・図書館ホームページにおいて中高生によるおすすめ本の紹介や、SNSを活用した読書支援の情報発信を継続して図りつつ、ヤングアダルト世代が積極的に参加できる環境づくりや企画に取り組む。

### 方向性3「市民一人ひとりに利用しやすい図書館」についての課題・改善策

#### 【サービス向上のための取り組み】

- ・どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの実現に向けた課題を把握するため、アンケート調査等を実施し、利用者ニーズや満足度の高いサービスのあり方について検討していく。併せて読書バリアフリー法に基づいた障害者サービスのあり方について、次期仙台市図書館振興計画の策定に向けて検討していく。

#### 【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための取り組み】

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢に応じた図書館サービスの提供や改善に継続して取り組む。

### 方向性4「自らの変革を進める図書館」についての課題・改善策

#### 【図書館サービスの広報】

- ・新たなニーズの掘り起こしのため図書館Twitterの活用や、イベント等の賑わいの場での図書館の魅力PRなど、あらゆる機会を活用した広報を引き続き行い、利用促進に繋げる。